

## 令和4年度 第1回八雲町行財政改革懇話会会議録（要旨）

日時：令和4年12月15日（木） 13：30～15：00

場所：役場第1・2会議室

### 【出席者】

委員：近藤安幸、出口光仁、中出忠仁、棚田昌幸、東間和浩  
町：岩村町長、成田副町長、竹内総務課長、川崎財務課長、  
野口地域振興課長、その他各課事務事業説明者  
事務局：川口政策推進課長、上野政策推進課長補佐  
傍聴人：なし

### 【内 容】

#### 1. 開会

#### 2. 町長挨拶

#### 3. 委員長挨拶

#### 4. 意見交換

##### 1) 外部評価の実施について

- ・外部評価対象として抽出した19事業について、資料2により事務局から1事業ずつ説明し、質問・意見の聴取を行った。

### 1. 自動車運転免許証自主返納支援事業

（委員）

八雲町民だけの返納者数はわかりますか。

（総務課）

返納者人数は八雲警察署の窓口で手続きした人を集約したもので、警察の事務手続き上、長万部と八雲を分けることはできないものとなっております。

（委員）

このような事業の利用率は全体の対象が分からないとだめだと思いますが。

（総務課）

警察の方でも返納者の人数は把握できても、失効者の数までは把握できないため正確な対象者数を把握することは困難です。個人情報に関係もあり、全体の把握は困難です。

### 2. 農業研修者家賃助成事業

（委員）

大関牧場の研修者が対象ですか。

（農林課）

青年舎での研修者も対象ですが、あくまで民間賃貸住宅への入居者が対象です。

(委員)

青年舎ではなく個人の農家で研修されている人は助成対象となるのですか。

(農林課)

同じく対象となります。

### 3. 新規作物導入検討事業

(委員)

場所はわらび野ですか。

(農林課)

わらび野と上の湯です。

(委員)

まだ成果は出ていないとのことですが、稔りはどのような感じですか。

(農林課)

良い成果となっております。収穫はできないが実はなっている。来年収穫できる見込みとなっております。

(委員)

将来的にどのくらいの作付け規模を目指していますか。

(農林課)

ワインの醸造樽ひとつに対し1ヘクタールの畑が必要となる。まずはそこを目標としている

### 4. 町有林一般造林事業

(委員)

町全体で町有林と民有林どのくらいありますか。

(農林課)

民有林が1,600ヘクタール、町有林で5,100ヘクタールです。

(委員)

この施策はカーボンニュートラルのグリーンカーボンにもつながると思うので継続した取り組みをしていただきたいと思います。

### 5. 奨学金償還支援事業

(委員)

事業制度の周知を行ってきたとのことですが、まだまだ制度を知らない人たちがいるのではないのでしょうか。

(商工観光労政課)

この事業は町内の事業所に就職されて転勤のない方を対象とした5年間の事業です。広報やホームページにより周知を行ってきましたが対象者が少ない。この事業は日本奨学金支援機構の奨学金または町の奨学金を対象としており、教育ローン等は対象外としております。令和3年度までの実績が少なかったことから、今年度新たに制度化したUIターン就職奨励金事業により一層定住、担い手

確保を図るため制度を拡充しました。今後は新制度の方に移行していきたいと考えております。

(町長)

奨学金返済を支援することで八雲へ帰ってくる人が多くなると見込んでいましたが、UI ターン就職奨励金事業を申請する人の方が多い状況となっている。

(委員)

転勤なしの雇用が条件ですね。

(商工観光労政課)

あくまで定住という面を重視しておりますので、すぐに転勤されてしまいますと、ただお金を渡ししてしまうということとなってしまいますので、そこを避けたいと考えております。

(委員)

地元企業に特定するものですね。大手の支店のようなものは対象外ですね。

(商工観光労政課)

元々地域で採用されて、当面転勤がないような条件であれば対象となりますが、転勤が前提条件での採用者は対象外としています。

(委員)

もしかしたら増える可能性もあると思いますが、予算の確保は大丈夫ですか。

(商工観光労政課)

来年度以降も継続していきたいと考えておりますが、効果検証をしながらどのように継続していくべきか制度設計していきたいと考えております。

## 6. 簡易脳ドック検診事業

(委員)

八雲町独自の事業ですか。

(保健福祉課)

健康増進法に基づくものではなく、八雲町独自のものとなっております。周辺自治体でも結構行われております。

(委員)

脳の検査だけですか。

(保健福祉課)

簡易といいながらも、脳の MRI や頸部の MRI、MRA、脳と頸部を合わせて簡易脳ドックという形で実施しております。

## 7. 住民健診事業

意見なし。

## 8. 高齢者保健事業と介護予防の一体的事業

意見なし。

## 9. 風しん追加的対策事業

(委員)

もう少し奨励したほうが良いと思います。

#### 10. 介護従事者確保推進事業

意見なし。

#### 11. くまいし訪問介護事業所運営補助事業

(委員)

介護する職員は何名いるのですか。

(住民サービス課)

3名です。

#### 12. 訪問介護サービス事業

意見なし。

#### 13. 家族介護継続支援事業

(委員)

対象者はどのような方ですか。

(保健福祉課)

対象者は寝たきりに限らず要介護度 4 以上の重度の方でかつ町民税非課税の方です。現在はほとんど介護サービスを使っている方が多いので、この制度を利用する方はほとんどおりません。

(委員)

それでも継続していくのですか。

(保健福祉課)

町としては進めるものではないのですが、できれば介護サービスを利用していただきたいのですが、どうしても介護サービスを利用したくないという方もおりますので、制度としては残しておく必要があります。

(委員)

年間で 10 万円となっていますが、期間の定めはないのですか。

(保健福祉課)

毎年継続で 10 万円受給できます。

#### 14. 地域自立生活支援事業

(委員)

民間ではこのような事業はないのですか。

(保健福祉課)

現時点で民間でのサービスはありません。

#### 15. 冬期福祉手当給付事業

(委員)

灯油が値上がりしている中、この金額でいかなものかと思いますが。

(保健福祉課)

令和 2 年度までは 5 千円でしたが、令和 3 年度から 1 万円としております。令和 4 年度についても 1 万円としております。

## 16. 福祉タクシー助成事業

(委員)

利用率はどのくらいですか。

(保健福祉課)

交付率は全体の 3 割程度。そのうち助成券利用率は 77 パーセント程度となっております。

(委員)

券の利用は年度で区切るのですか。

(保健福祉課)

3 月を使用期限としており 4 月に新たに申請していただき交付する形となっております。

## 17. 紙おむつ利用券給付事業

意見なし。

## 18. 障がい児保育事業

(委員)

認可保育所は何箇所ですか。

(住民生活課)

町内 3 箇所です。

## 19. 読解力向上推進事業

意見なし。

### 2) 特定事務事業の選定について

(委員)

番号で言いますと、1, 2, 5, 7, 10, 11, 15, 16, 18, 19 をお願いします。

### 5. その他

(委員)

二次評価をされていますが、この制度を始めたときにはまだまだ担当課もいろいろな見方があって定まっていないことから町の主たる方々が二次評価として評価したものを委員におろそうという考えがあったと思いますが、今回の 19 事業にしても担当課評価どおりの二次評価が多いということは相当担当課評価も落ち着いてきて、特に二次評価というものはしなくても良いのではと思います。最初は、一次評価は継続であっても、二次評価が改善というものもありましたが、今回は一次も二次

も全部同じであり、一次評価がぶれていないため町としての考えも一緒なのかなと思いますし、コメントが書かれています。これは内部で協議すれば良いことですので、あえて二次評価をする必要は無くなったと思います。

この行政改革懇話会も見直す必要があるのではと思います。町の事業を町民へ知らして町民から意見を聞くということは、町民自治推進委員会の中でも謳っていることですが、百数十本の事業全てをパブリックコメントすることは無理なことですし、特定事務事業を選定することは必要ですが町側だけで選定することはよろしくないと思いますのでこのような場は必要と思いますが、選定された10事業を令和4年度中に行うとすれば、それぞれの担当課が意見を聞こうとすると集中してしまうので例えば2年間の中で意見を聞くということも考えてはどうでしょうか。

(政策推進課)

自治基本条例第41条に外部評価の規定がありますが、外部評価のやり方はいろいろ考えられると思いますので、条例は改正しないまでもサイクルを毎年やっているものを2年に1回とするとか、懇話会という形をとってやるべきなのか、いろいろとやり方があると思いますので事務局で検討したいと思います。

## 6. 閉会